

アジアで大反響！ 12月、いよいよ日本に凱旋！

ドラムス&ヴォイセス 東京公演

音楽監督・大島ミチルのもとに、ASEAN伝統演奏家が大集結

公演名: 日・ASEAN友好協力40周年記念 ドラムス&ヴォイセス
 公演日: 12月18日(水) Bunkamura オーチャードホール 18:30 開場 19:00 開演
 主催: 国際交流基金/Bunkamura
 後援: TOKYO FM/駐日各国大使館(ベトナム、カンボジア、ミャンマー、タイ、ラオス、ブルネイ)
 公式HP: <http://drums-and-voices.jp>

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、2013年12月18日、ASEAN-Japan「Drums&Voices」東京公演をBunkamuraと共催で実施します。

2013年は「日・ASEAN友好協力40周年」にあたり、日本とASEAN各国で様々な交流イベントが開催されています。本公演「Drums&Voices」には、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、タイ、ラオス、ブルネイ、日本から12人のアーティストが参加し、それぞれの出身国で10月から公演を実施してまいりました。

音楽監督に、作曲家・大島ミチルを迎え、事前に出演者全員で合計4週間におよぶワークショップ(いわば、合宿)を行い、各国の伝統音楽をベースにしながらか、お互いの音楽性を競い合い15曲が完成。「太鼓」「声・唄」という万国共通の要素を用いて、思わず踊りだしたくなる曲、見たこともない楽器による超絶技巧の競演、しっとりとしたバラードなど、バラエティに富んだ音楽が生まれています。

10月17日のベトナムでの初日、手でリズムを取っているお客様、踊っている子供なども！今回のツアーのために作曲された曲や、違う国の曲など、初めて聴く曲を体で楽しんでいる観客の方々がたくさんお越しになり、各国公演は大盛況のうち終了。

そしていよいよ、12月18日Bunkamuraオーチャードホールにて、フィナーレ公演を迎えます。ASEANツアーを通し、新たな音楽を作り出した相互信頼感の醸成とともに、個性あふれるアーティスト達のぶつかり合いによって生まれるパフォーマンスは、必見です！！ 東京公演のみ、藤原道山(尺八)参加決定！

<出演アーティスト>

【音楽監督:大島ミチル】

日本:堀つばさ(太鼓、唄) /ベトナム:ミン・チー(チョンカイ他)、マイ・リエン(唄、トルン) /カンボジア:チャンナ(チャイヤム他)、ヴタ /ミャンマー:アカダミ・ミャンマーピ・チャウ・セイ、ポトユ・レイ(パット・ワイン他) /タイ:トサポーン・タサナ(ラナート他)、クリス・シャニングスター(ラブイズ)(唄) /ラオス:セントン・ブッサディ(コンハン、ケーン他)、プサヴォン・サクダ /ブルネイ:ユスリ(レバナ他)

※東京公演スペシャルゲスト:藤原道山(尺八)



本件に関するお問い合わせ

日・ASEAN 友好協力40周年記念「ドラムス&ヴォイセス」東京公演 広報宣伝

1. 事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 玄田・松永 (TEL03-5369-6062) mail: drums_and_voices@jpf.go.jp
2. チケットに関するお問い合わせ: Bunkamura 北村 (TEL03-3477-9150)
3. 取材に関するお問い合わせ: スプレッド 早水 (携帯:090-1691-6439) mail: khayami4839@gmail.com

ご参考資料



(左奥から時計回りに)
トサポーン・タサナ(タイ)
堀つばさ(日本)
ユスリ(ブルネイ)
ヴダ(カンボジア)

©栗山一紀

演奏曲解説(抜粋)

1.Hush

タイのトサポーン・タサナが演奏する太鼓と、堀つばさの和太鼓によるタイの伝統音楽をベースにした即興アンサンブル。つぶやくような太鼓の掛け合いから、力強い共演へ。彩り豊かな「太鼓」の音色とリズムを堪能できる。

2.Lullaby & The Sound of T' rung

Lullaby(子守唄)は、ベトナム民謡の中で歴史が古く、最も愛されている音楽。ベトナムのマイ・リエンの哀愁漂う歌声が印象的。後半は一転して明るく楽しい雰囲気曲に。沖縄民謡にも通じるようなアジア的な合唱が入り、気分が高揚する。後半のメロディを奏でる楽器トルンは、ベトナム中部高原の人々の生活や文化に密着した長い歴史を持つ。

3.Cotton Dance

「Cotton Dance」はカンボジア北東の少数民族の生活から生まれたダンス。彼らは綿花を収穫し、服や生活用品を作っていた。今回のステージではワークショップを見ていた大島主導で共作したオリジナルの音楽にのせて、カンボジアのチャンナが綿摘みのダンスをアレンジして踊る。踊りだしたくなる軽やかな曲。6カ国の共演。

4.Melody from the Heart (Circle Trio)

ミャンマーのチャウ・セイン、ポ・チュ・レイン、タイのトサポーン・タサナの3人によって奏でられる曲。サイン・ワイン、チー・ワイン、ペンマン、全て環状の枠に多くの太鼓やゴングが連なった楽器。それぞれが奏でるリズムが複雑に絡み合い、絶妙な音色の交じり合いと共にトランス状態となる。言語は違っても、魂が生み出す「音楽」という言語でコミュニケーションをする様子を楽しみたい。

5.Hua Jai Nung Diow

今回のコンサートのために新しく作られた曲。大島主導で共作した曲に、タイのクリスが歌詞を作詞した。「異なる国、文化、言語、異なる環境から集まった人々。けれども心の奥深くは同じ」という歌詞。ラナート・エクトルンの組み合わせによる伴奏の音色はどこか懐かしく、癒しの風が吹く。

音楽監督 大島ミチル(作曲家)



国立音楽大学作曲科卒業。在学中から作、編曲家としての活動を始め、映画音楽、CM音楽、TV番組音楽、アニメーション音楽、施設音楽など様々な分野で活躍。52回、第67回の毎日映画コンクール音楽賞受賞、第21回、第24回、第26回、第27回、第29回、第30回の日本アカデミー優秀音楽賞、第31回の日本アカデミー最優秀音楽賞を受賞。他にも2006年アニメーション・オブ・ザ・イヤー音楽賞受賞、ジャクソンホール映画祭(アメリカ)ベスト映画作曲賞等受賞多数。フランスと日本にて「For The East」CDも発売中。また吉永小百合さんの原爆詩の朗読の音楽も担当。代表作品として、大河ドラマ「天地人」、映画「ゴジラ対メガギラス」、映画「明日の記憶」、アニメ「鋼の錬金術師」など。本プロジェクトでは総合的に音楽を監修。公式サイト:<http://michiru-oshima.net/>

取材をご希望の方へ

出演者は12月11日(水)に来日後、下記スケジュールにてリハーサルを実施しております。リハーサル中含め、取材対応についてご相談させていただきますので、事前にご連絡ください。

12月12日(木)、13日(金):東京芸術劇場 シンフォニースペース <http://www.geigeki.jp/>

12月15日(日)、16日(月):水天宮ピット 大スタジオ <http://www.geigeki.jp/suitengu/>

本件に関するお問い合わせ

日・ASEAN 友好協力40周年記念「ドラムス&ヴォイセス」東京公演 広報宣伝

1. 事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 玄田・松永 (TEL03-5369-6062) mail: drums_and_voices@jpf.go.jp
2. チケットに関するお問い合わせ: Bunkamura 北村 (TEL03-3477-9150)
3. 取材に関するお問い合わせ: スプレッド 早水 (携帯:090-1691-6439) mail: khayami4839@gmail.com